

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)	良く なっている やや良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・日が伸びたこともあり、人の活動時間が長くなり、来客の動きは活発である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・名刹のご開帳が終わり梅雨入りしたものの、観光客の来客数は増えている。また、多少海外の客も目立っている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・6月は雨天日が少なく、例年のように雨が降るたびの下落はない。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・前年の4～5月は売上の落ち込みが大きかった。その前年度との対比なので、なんとも言えないが、衣料、住居用品、食品とすべての項目で、前年の売上、客単価、来客数を超えている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・店をリニューアルオープンしたので、客数は増えたものの販売量が落ちている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・前年と比べ天候に恵まれてきている事もあり、客単価が上昇し前年比103%である。新商品についての客の反応も良い。
		乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・このところは来客数が多い。以前はイベントをやっても店頭に来客は来なかったが、今月に入ってイベントを行うと以前と比べかなりの人数の来客がある。即決となることはないが、後日連絡を取っていけば、ぼつぼつと決まっている。
		住関連専門店（経営者）	単価の動き	・プレミアム付商品券の使用が始まり、消費者のマインドも単価上昇分より、若干上向いているように感じる。また、地方においても、賞与の見通しに明るい兆しが見えてきたようである。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・わずかながら宴会の予約件数が増えてきている。予算は最低限のものが多いが、中には高額な予算での宴会もあり、少しずつ社交に回す金額が増えてきているようである。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・名刹のご開帳が終了し、しばらく静かだったが、中旬以降だいぶ持ち直してきている。客数、客単価とも良くなっており、全体的に上向いてきている。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・地方創生事業として実施されている、ふるさと旅行券の影響により売上が10%程度増加している。ただし、浅間山噴火の影響による風評被害で8%程度売上がダウンしているため、差し引き2%程度の増加で、やや良くなっている。
		都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・毎年この時期は停滞する傾向にあるが、今年に限ってはインターネットを中心に個人予約が伸びている。インバウンドも変わらず好調を維持しており、必然的に売上にも反映されている。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・3か月前と比較すると、販売量は増加している。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・従来、雪目当てで訪日していた団体客の入込が、雪解けしても好調である。円安、チャーター便の影響がある。	
変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・七夕を前に商店街の飾り付けは済んだが、来街者の様子は相変わらずで少しも盛り上がらない。梅雨明けとともに、にぎわいが訪れることを期待している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・地方の店に行き、品物の動きを見てみると、店内の棚の商品が毎月同じである。店主に話を聞くと、店に客が来ないため、商品を追加したり、新商品を並べ替える気にならないと言っている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・当地のプレミアム付商品券の購入申込ハガキは今月末締切だが、現在申込が50%程度である。プレミアム付商品券を割安に購入できる高齢者の反応がシビアである。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・新学期の入学シーズンが終わり、これから売上が落ちる時期だが、今年はクラブ活動、水着用品等が予想以上に良いので、今のところは順調である。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・プレミアム付商品券の発行が全国的に行われていると、一般消費者が、徐々に理解してきている。少しずつ使用が始まっている。まだ十分ではないが、関係者はさらにPRするので、七夕セールの際には多少上向きになってくるのではないかと、という話も聞こえてくる。しかし、なかなか浸透しない。

一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・季節商材の動きも鈍く、ボーナスの話題も出てこない。展示会などを仕掛けても、マンネリなのが消費者の購買意欲を高めることは難しい。
一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・6月に入り天候が悪く、5月に動き始めたエアコン、冷蔵庫等の、夏物の動きが止まっている。
一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子	・客は必要なもの以外は、まずほとんど買わない。おいしいものが店頭に出ても、高いものは買わない。この傾向がますます強くなっている。
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・お中元のギフト商戦が始まっているが、想定以上に苦戦を強いられている。また、婦人衣料をはじめ各商品群とも前年割れである。
百貨店（副店長）	販売量の動き	・お中元がスタートしたが、動きはあまり良くない。例年より客も少なく、盛り上がり欠ける。母の日も父の日もそうだが、客の腰が重く直前にならないと買物に来ない状況が顕著である。インセンティブへの反応も今一つである。最終的に帳尻が合えば良いが、消費意欲減退の表れではないかと非常に心配である。
スーパー（統括）	お客様の様子	・買物における消費者の傾向は、少しランクが上の商品、プレミアム商品を求める層が3割、これまでの生活スタイルを維持しようとする層が3割、節約志向をさらに推し進めようとする層が3割と、カラーがはっきりしてきているが、現時点で売上全体に大きな変化はない。
スーパー（商品部担当）	単価の動き	・ここ数か月は大きな変化もなく、既存店ベースの数値も横ばいで推移している。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・たばこの売上が前年比80%となり、客数の減少につながっている。
コンビニ（経営者）	それ以外	・売上、客数共に100%である。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・5月は非常に暑くかなり好調に推移していたが、6月はやや気温が下がり天候も不順で、来客数、販売量共に減少している。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・前年と比べても、客数はほとんど変わっていない。今月は、周りの環境にも大きな変化はない。
家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・天候不順であるが季節商材も前年同様の動きである。パソコン関連の動きも同じく改善はされていない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車、中古車の販売量はいまだに低迷したままである。車検や一般整備でも、客の大部分は、とにかく安い値段で仕上げたいと言っている。地方ではまだまだ厳しい状況であることは間違いない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・軽自動車中心に販売台数が落ちている。販売利益はかなり下がっているが、救いは車検を中心とした工場の売上が目標値で推移していることである。
乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・2～3か月前から当社独自の販売システムで、毎月1回ミニ展示会とミニ展示会用のチラシを何千枚か、まいているが、チラシをまく枚数に対し、客の反応が本当に薄い。客数が極端に減っている。2～3か月前から始めているが、客数が増えないため、今のところ良くない。
住関連専門店（店長）	販売量の動き	・雨の日の売上が悪い。客は必要なものしか買っていないようである。
その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・前年比で約1割程度、販売量が減少してきている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ここ何か月間か来客数が減少している。来客数を増やすことは至難の業であり苦労している。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・客単価は上がらず、予算内で抑えると言われるため、消費税や材料費の高騰を考えると逆にマイナスである。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・名刹のご開帳も終わり、景気はちょっと一段落している。前年比より数字は落ちるとみている。また営業の努力をしたい。
都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・ビジネスホテルだが、3か月前と変わらない。3か月前は春先のシーズンで、団体の客が比較的多かったが、それは前年度と同様である。3か月後の現在の稼働も前年度と変わっていない。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・来客数、申込状況をみても伸びていない。

	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・北陸新幹線延伸開業に伴い客は増加したが、新幹線の影響も落ち着いた現在は平常に戻りつつあり、大きな動きはない。前年同期の受注と比較してもあまり大きな差はない。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・徐々にではあるが新規加入は、増えつつある一方で、解約もなかなか減らない。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・不動産販売は、地域差があるものの、販売戸数はいまだ前年実績を下回る地域が散見される。
	ゴルフ場（支配人）	お客様の様子	・梅雨空が続き、雨によるコンペの予約キャンセルが多い。雨を嫌う年長者の予約が入らず、また、このエリアの客単価もなかなか上がらない。
	ゴルフ場（総務部長）	来客数の動き	・天候要因もあるが、来場者の予約状況が前年をやや下回っている。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、ほとんど変化がみられない。
	その他サービス [立体駐車場] (従業員)	来客数の動き	・3か月前と比べ、若干だが客数は上向しているが、単価も売上も横ばいであり、変わらない。
	その他サービス [イベント企画] (職員)	お客様の様子	・客の動きをみても、大きな変化はうかがえない。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・安い坪単価の土地は、引き合いがちらほらある。普通の値段になると引き合いは、全くない。景気が良いかどうか非常に判断を迷う。また、良さそうに見えるが、貸店舗等については、まだ撤収もあり、空洞化というか、空き家の多い店舗が増えているように感じる。
やや悪くなっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・ここにきて客数が減少している。それと比例し、売上も低調気味である。特に衣料品部門が不振で、3か月前と比べるとやや悪くなっている。
	衣料品専門店 (販売担当)	お客様の様子	・今月は公務員のボーナスが出る時期なので、いくらか期待はしていたが、客が、普段来る客ではなく、買物はしないで品物を見て歩くだけの、今まで見たことのない客が多い。残念ながら購買意欲は本当になく、来客数も少ない。前月までとは違った雰囲気になってきていて、先行きが危ういかなと受け取っている。
	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・例年決算期後の4～5月は販売が落ち込み、6月から回復する傾向だが、今年は盛り上がり欠けている。
	乗用車販売店 (管理担当)	販売量の動き	・消費税増税の影響と中小企業では給与ベースアップ及びボーナス増加はあまり見込めないため、消費者の消費意欲は低迷している。
	自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・販売量もそうだが、来店客や往来する車の交通量等が少なくなっている。客の動き、人の動きが少ない。
	住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・ゲリラ豪雨の多発で客数が減少している。5月に好調であった夏物商材は、日中気温が上昇しても朝夕になると比較的過ごしやすい天候のため、6月に入り動きが止まっている。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・大型飲食店がオープンし、その影響を受け前月に比し、売上、来客数共に1割以上の減少している。
	スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子や、来客の動きもそうだが、6月に入り、とても良くない状況である。地方紙では賃金の引上げのような記事も出ているが、一向にその気配がない。
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・全体的に客の動きが悪く、前年同月比で1%の減少である。
	タクシー（役員）	それ以外	・乗務員の確保が全くできない。
	美容室（経営者）	単価の動き	・相変わらず、客の美容施術はカット及びヘアカラーが中心で、単価が上がらない状況である。これからは単価が上昇するように努力しないと経営も厳しくなる。
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・新規計画は少なく、実施設計がほとんどない状況が続いている。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・梅雨時期のせいもあり、客数が極端に少ない。3か月前と比べ、かなり減少している。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・今月は新しい情報もないが、建設会社の営業担当も来ない。現状、工事量は足りているということなのだろうか。
	住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・事業用の客がほとんどで、居住用がほぼゼロである。当社の主力商品は居住用であるため、まだまだ景気が良くなっているとは思えない。

	悪くなっている	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・6月中の天候は、前半は暑く真夏のような暑さだったが、入梅後から寒くなり、今日などもかなり涼しくなっている。暖かだったり寒かったりでありあまり良くない。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・今月は全体的に不調な推移である。前年比で100%以上を取れた商品群はテレビとスマートフォンのみ、他の冷蔵庫、洗濯機は90%後半、前年が暑かった影響からエアコンは70%台まで落ち込んでいる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・30年以上タクシー運転手をしているが、今月は初めて売上が40万円を切り、2割以上減である。とにかく利用客の少なさに驚いている。街なかも、歩く人の姿も見られないほどで、最悪の状態である。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・地方での経費圧縮の流れは変わらない。企業の広報費削減による定期刊行物の休止等、厳しい業況に変わりはない。
企業動向関連 (北関東)	良くなっている	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・富士山人気もあり、海外の来県者が順調に増加し、前年の30%増となっている。また、工場見学者についても国内観光客が増加しており、幅広い価格帯の商品で前月に引き続き、売上が伸びている。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・環境装置製品の開発、製造、レンタルを行っているが、スプレー缶、エアゾール缶、ガス缶、ライター等の処理装置に対して、各自治体より問い合わせが多くなっている。
	やや良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先の輸出増加により、やや良くなっている。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず展示会での集客は難しいが、客単価が上がってきている。売れる展示会と売れない展示会の差が大きい。客も価格だけではなく、購入先の選択をしてきている。
		建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・現政権のもと、順調に公共事業の発注が続いている。発注額は早期発注の影響で前年比で、県が47%増、市町村が11%増、合計で26%増と大変ありがたい状況である。ただ10年以上続いた建設不況から、いまだに脱却できない原因は、財務内容が改善できず、作業員の高齢化が進み、賞与支給もないため若い人が入社してこないからである。建設業はまだまだ問題を抱えている。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・建設業は、公共工事の受注が平準化しており、資金繰りも安定している。観光業については、外国人及び団体客が増加し、売上が増加している。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・ようやくわずかながら景気が回復してきているようである。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談件数、受注量ともに増加傾向である。ただし、価格は抑えられており、収益的にはまだまだ厳しい状況が続いている。
		変わらない	化学工業（経営者）	取引先の様子
窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子		・数年ぶりの大量受注があり、一時的ではあるが多忙である。	
金属製品製造業（経営者）	取引先の様子		・特装車両のミキサー車は、フル生産が続いている。大型船舶用コンプレッサーも引き続き好調である。	
電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き		・相変わらず企業間格差は激しいが、市内全体は落ち込んだ状態で安定している。	
輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子		・取引先の様子や競争相手、手数料、販売量等、ここ1～2か月はあまり変わりが無い。	
輸送業（営業担当）	取引先の様子		・最近の円安により、特に輸入貨物、コンテナ等の物量が減っている。また、輸入食品などの価格上昇により荷動きも落ち込んでいる状態である。	
金融業（調査担当）	取引先の様子		・製造業では海外、国内ともに大きな変化はなく、横ばいの状況が続いている。非製造業は消費税増税後の影響が薄らいでいるものの、個人消費に力強さはまだみえない。	
金融業（役員）	受注価格や販売価格の動き		・市場が狭くパイの奪い合いで、価格競争になっている。	

	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・当社管理物件の事務所ビルで、空調機器などの改修工事が増えている。当社は工事に伴う管理上の立会業務の依頼が増えている。当社が工事を受注することはなく、その他の業務がやや減っているの、それを考慮すると横ばいである。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・名刹のご開帳が終わり、街を歩く人は極端に減っている。前年の消費税増税時のような落ち込みだと話す人もいる。チラシ出稿量は前年比102.1%だが、前年実績は前々年比89.4%であるので、2.1%の増加は回復を感じさせるほどには至っていない。前々年との比較では91.2%である。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・建設分野は若干持ち直して、住宅関連なども良い。飲食業や小売店の景況水準は並みであり、下請製造業もほぼ良い。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・近隣の事業主の多くは景気は良くないと言っている。サービス業ではパート、バイトが集まらない現象が続いている。	
やや悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	競争相手の様子	・状況は依然として変わっていない。値上げをしてこなかった競争のつげが回り、ここにきて資金繰りが本当に厳しくなって、倒産に追い込まれている。	
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・全般的に受注量が減ってきており、数字は上がらない。注文ロットも小さくなってきている。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事の早期発注に期待していたが、大したことはなく、民間の動きも悪い。	
悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月以降、毎月受注量が2～3割ずつ落ちている。もう最盛期の半分くらいの仕事量しかない。同業者にも聞いてみたが、理由は分からないが、やはり手が空きすぎて困っているという話が出ている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4～6月まで取引先からの電話システムの受注が在庫調整により半減している。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販促予算を削減、ストップするケースが3件ほどある。このようなケースは前年同時期にはなく、消費の落ち込みが深刻であり、特に物販業が厳しい。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
(北関東)	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・取引先の会社や現場から、ちょっとした発注依頼が若干だがあるので、3か月前と比べると良い。
		人材派遣会社（管理担当）	雇用形態の様子	・派遣業務を請負へシフトし、派遣社員から請負社員へ雇用形態を変更した。派遣ではできない分析や改善業務の提案をクライアントに行い、業績が上がっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・引き続き名刹のご開帳、北陸新幹線延伸開業に伴う観光需要に対する求人がある。観光客の増加により飲食業、土産品製造に関する食品製造業からの求人申込の動きは活発である。
変わらない		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・自動車関連等の製造関係は持ち直してきたようである。電機、電子などについてはおそらく在庫調整かと思うが、新機種等も含めて増産と見られる。ただ、衣料、食品関係は原材料等の高騰などもあり、一進一退の状態である。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・当社は前年は忙しかったが、今年はあまり忙しくない。少し安定しているのが、あまり上下がない。
		人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・名刹のご開帳が終了した途端に、駅前の人もまばらになっている。各企業との打ち合わせ時も、当県内はどうなってしまうのだろうかとの声ばかりである。
		人材派遣会社（支社長）	雇用形態の様子	・紹介予定派遣等の引き合いは多いが、正社員ではなく契約社員がほとんどである。求職者からは、紹介後の待遇が派遣時とさほど変わらず、相談や交渉がやりにくくなるだけだと、評価は低い。採用側の必死さはわかるが、求職者側のニーズとずれており、その差が接近する様子もなくこう着状態である。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・依然として、求人募集は人材派遣会社による福祉、医療、製造業の派遣募集が多い。相変わらず正社員募集は少ない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・全国的には景気回復傾向のようだが、求人数が伸び悩んでいるため、変わらない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は、前年4月比で微増となり景気回復の兆しがみられる。
		学校〔専門学校〕（副校長）	求職者数の動き	・毎月のことであるが、職種に偏りがある。求人職種と求職者のミスマッチが続いている。

やや悪くなっている	新聞社 [求人広告] (担当者) 職業安定所 (職員)	それ以外 求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告予算の削減が目立っている。 ・ 新規の求人数及び求職者数は前年比で減少傾向である。同じ割合で減少すれば有効求人倍率はそれほど低下しないが、求人数の減少割合より求職者数の減少割合が少なく、有効求人倍率にも反映され、直近では1倍を下回り、0.99倍となっている。
悪くなっている	-	-	-